

第2期「板柳町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

○策定の趣旨・位置づけ

町民をはじめ地域一体となって問題意識を共有し、町の総合的な振興と発展を目的とした「第5次長期振興計画」との整合性を図るとともに、「板柳町人口ビジョン」（2020年改訂版）を踏まえ、人口減少の克服と町の創生を目的として、2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの5年間の具体的な戦略を示す計画として位置づけます。

○3つの政策分野

- ・未来につながる産業づくり … 町外への転出の抑制や町外からの移住を進めるため、生活の基盤となるしごとづくりとして、町の基幹産業である農業への就農促進や商工業の振興を図ります。
- ・健康で子どもを育むまちづくり … 町民寿命の延伸による人口減少スピードの抑制を図り、町民一人ひとりの健やかな暮らしや、スポーツを通じた健康づくりなどを促進します。
また、町の宝「子ども」たちが、町で生まれ、希望を持って成長し、その希望を実現するための環境づくりや、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育てなどを支援していきます。
- ・住みたいと思えるまちづくり … 首都圏等の人材の受け入れや若い世代の定着を図るため、魅力ある生活環境づくりや人にやさしい社会環境づくりを進めます。

第2期「板柳町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策分野・政策パッケージ

□基本目標：目標値（←現状） ■重要業績評価指標：目標値（←現状）

1 未来につながる産業づくり

- 新規就農者数：現状より増加（←5カ年計12人）
- 町特産品売上高：現状より増加（←368,800千円）
- 商工会新規加入数：現状より増加（←4件）

2 健康で子どもを育むまちづくり

- 平均寿命：現状より延伸（←男78.5歳、女85.4歳）
- 合計特殊出生率：1.43（←1.19）

3 住みたいと思えるまちづくり

- 板柳町に住みたいと感じる割合：50%（←31.3%）

(1) 希望の持てる持続可能な農業づくり

- トレーサビリティ普及率：現状維持（←62.2%）
- 認定農業者数：現状維持（←292人）

(2) 商店街のにぎわいづくり

- 製造品出荷額等：現状より増加（←392,100万円）

(3) 地域資源を活用した産業づくり

- ふるさとセンター利用者数：現状より増加（←16万3千人）

(1) 安心して子育てができる環境づくり

- 子育ての環境や支援への満足度：現状より増加（←就学前：61.5%、小学生：60.2%）

(2) 健康長寿をめざしたまちづくり

- 特定健診受診率：現状より増加（←41.7%）
- 特定保健指導実施率：現状より増加（←83.5%）
- 各種がん検診受診率：現状より増加
（←胃がん：13.0%、大腸がん：17.9%、肺がん：17.8%
乳がん：22.2%、子宮がん：14.1%）
- 介護保険第1号被保険者のサービス受給率：現状より減少（←13.5%）
- 板柳町シルバー人材センター会員数：現状より増加（←61名）

(3) スポーツを通じた健康づくり

- スポーツ施設の年間延べ利用回数：2050回（←2,018回）
- スポーツ大会、教室等の年間延べ開催回数：1,750回（←1,707回）
- 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の割合：現状より増加（←18.6%）

(1) 若者が定住するまちづくり

- 転出超過数：現状より減少（←68人）

(2) 安心して快適なまちづくり

- 除雪サポート活動モデル事業活動実績：現状より増加（←17団体）
- 防災・防犯面に不安がないと感じる割合：50%（←16.6%）

(3) 住み慣れた地域で暮らせるまちづくり

- 25～44歳の女性就労率：現状より増加（←86.2%）

(4) 未来を切り拓く人づくり

- 講座、教室の年間延べ開催回数：63回（←62回）
- 町民一人当たりの図書貸出冊数：1.4冊（←1.3冊）

策定までの主な経緯（令和元年7月～令和2年3月）

- ・板柳町まち・ひと・しごと創生事業推進本部 3回開催
- ・板柳町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 3回開催
- ・総合戦略アンケート実施 町民1,000名、県立板柳高等学校3年生64名（令和元年10月）
- ・パブリックコメントの実施（令和2年3月）